

令和6年度 小平市立小平第三中学校 学校評価計画表

学校教育目標 ○健康 「ゆたかな心 たくましいからだ」 ○ 実践 「進んで学び、積極性を養う」 ○ 協力 「ひとりはおみんなのために みんなはひとりのために」					
目指す学校像(ビジョン)					
【目指す学校像】 ●(生徒)安心して自己実現ができる学校 ●(保護者)信頼でき協力したくなる学校 ●(教職員)チームとして力を生かし、主体的に課題を解決できる学校 ●(地域)内外に開かれ地域とともに歩む学校 【目指す生徒像】 ●生きる力をもつ生徒 ○心身を鍛錬し、自分の責任を果たすことのできる生徒(自分を考える力) ○自分の個性を伸ばし豊かに表現できる生徒(学習を考える力)○思いやりのある生徒(人を考える力) 【目指す教員像】 ●生徒を慈しみ、良さを伸ばす。●日々研鑽に努める。●教育公務員としての使命と自覚をもち、服務規律に勤める。●保護者・地域の信頼にこたえる。●人の手本となることを銘肝し、教訓とする。					
前年度までの学校経営上の成果と課題					
教育活動アンケートにおいて生徒・保護者の合計で肯定的回答は、学力向上関係では、72%、健全育成関係では80%、特別支援関係では68%、キャリア教育では78%であり概ね学校の教育活動にに対して肯定的に捉えてもらっている。特にあいさつを始めとした健全育成に関する取り組みに良き成果が出ている。良き面を生かし、さらなる向上を図りたい。課題としては、学習者用端末の授業(自主学習への利用)や他の取り組みでの活用があげられる。					
学 力 向 上	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
	●生きる力(学習を考える力)の育成 ・主体的・対話的な授業づくりに取り組むとともにICT機器の活用を図り、学びの楽しさを追求する。 ・学習者用端末を活用した授業を実施し、情報活用能力の向上を図る。また、学習アプリを活用し学習の推進を図る。	・個に応じた指導の充実。 ・統一し授業形態(指導方法)の実践による、より分かりやすい授業の確立。 ・主体的・対話的な深い学びの授業づくりを進め、教員の授業力を高めるとともに、発表や討論の場を設け生徒の学習活動の活性化を図る。 ・学習機会を増やす。(学習教室の充実) ・ICT機器(学習者用端末)の活用した授業を促進するとともに学習アプリの導入する。	・全教科での統一した授業形態(3中スタンダード)の実施。 ・英語で指導方法改善授業を実施、1年生の教学ではティームティーチングを実施し個別指導の充実を図り、学力の底上げをする。 ・教員の情報活用能力を上げることを目指し、校内研修会にて学習者用端末を用いた研修・授業研究をおこなう。さらに学習アプリを導入し、自主学習への利用をはかる。 ・研究発表会などへの参加を推奨し内容を校内で共有する。	4 対象学級全てで実施 3 実施率80%以上 2 実施率60%以上 1 実施率60%未満 4 校内研修を年間4回実施、授業チェック表による利用率90% 3 校内研修を年間3回実施、授業チェック表による利用率80% 2 校内研修を年間2回実施、授業チェック表による利用率70% 1 校内研修を年間1回実施、授業チェック表による利用率60%	4 生徒のアンケート調査で、肯定的回答90%以上 3 生徒のアンケート調査で、肯定的回答80%以上90%未満 2 生徒のアンケート調査で、肯定的回答70%以上80%未満 1 生徒のアンケート調査で、肯定的回答70%未満 4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満
	●生きる力(人を・自分を考える力)の育成 ・生徒の規範意識の向上と主体性を高める。また、学校及び家庭生活において規則正しい生活習慣を確立させ、健やかな成長を推進する。 ・自他を尊重し思いやりのある生徒の育成を図るとともにいじめやいじりを「しない」、「ゆるさない」心を育む。	生徒の主体的な活動や行動を通して自主性を育成する。 ・教育活動全般において生徒が主体的に活動する場を設け、自他を認め合う、支え合う活動を取り入れる。 ・SDGsに関連した取り組みを行う。	・生徒専門委員会を支援し、生徒の主体的な取り組みを大切にしながら落ち着いた学習環境と生活環境を整備する。 ・生徒の発想を引き出し、生徒会・委員会活動を促進させる。また、指導者による指示を段階的に少なくし、生徒の自主性を高める。 ・3中版SDGsを設定し、活動の中に生かしていく。	4 生徒のアンケート調査で、肯定的回答90%以上 3 生徒のアンケート調査で、肯定的回答80%以上90%未満 2 生徒のアンケート調査で、肯定的回答70%以上80%未満 1 生徒のアンケート調査で、肯定的回答70%未満 4 生徒のアンケート調査で、肯定的回答90%以上 3 生徒のアンケート調査で、肯定的回答80%以上90%未満 2 生徒のアンケート調査で、肯定的回答70%以上80%未満 1 生徒のアンケート調査で、肯定的回答70%未満	4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満 4 生徒の自己評価で、満足度90%以上 3 生徒の自己評価で、満足度80%以上90%未満 2 生徒の自己評価で、満足度70%以上80%未満 1 生徒の自己評価で、満足度70%未満
	●人を考える・自分を考える力の育成 ・人としての生き方を真摯に考えさせ、将来の自分の夢や進路に向け主体的に取り組むことのできる生徒を育成する。 ・自分の住んでいる地域を知り、地域を愛する心、生活の場である学校を愛する心の育成を図る。	・進路関係の取り組みにおいて地域の力を活用する。 ・地域の方々との交流を通し、自分の住んでいる地域の理解を図り、郷土愛を育む。	・ボランティア活動や地域行事への参加、地域での清掃活動の実施など地域で活躍できる生徒の育成を図るとともに、自己の将来を描くことのできるよう、生きる力を高める取組を実施する。 ・地域の人材、地域の力の活用を図り講演会などを実施する。(生き方講演会、職場体験、職業調べ、上級学校訪問、道德、体験授業など)	4 保護者のアンケート調査で、肯定的回答90%以上 3 保護者のアンケート調査で、肯定的回答80%以上90%未満 2 保護者のアンケート調査で、肯定的回答70%以上80%未満 1 保護者のアンケート調査で、肯定的回答70%未満	4 保護者のアンケート調査で、肯定的回答90%以上 3 保護者のアンケート調査で、肯定的回答80%以上90%未満 2 保護者のアンケート調査で、肯定的回答70%以上80%未満 1 保護者のアンケート調査で、肯定的回答70%未満
	○校内委員会の充実を図り、特別支援教育の視点を踏まえた合理的な配慮を進め、特別な支援を必要とする生徒への丁寧かつ適切な指導を行う。 ○交流及び共同学習を全生徒に実施する。 ○関係機関との連携を緊密に取り、個に応じた支援を充実させる。特別支援教育への理解を深める。	・自他の違いを認識し、個々を尊重する心の育成を図るとともに、障がい者理解や授業、交流及び共同学習を実施する。 ・特別支援教育への理解を深める。	・運動会や音楽祭などの行事を通し、交流を深める。特別支援学級の教員による啓発授業を通し、障がい者理解を深める。 ・特別支援教育部の新設。具体的な手立ての構築を実施し、対応が必要な生徒への支援の充実を図る。 ・通常の学級と特別支援学級の相互の関わりを深める。 ・教員、生徒の関係づくりを重視するとともに特別支援校内委員会では対応を検討する。 ・スクールカウンセラーのやスクールソーシャルワーカーの活用や外部関係機関との連携、訪問活動により相談・支援体制を充実させる。	4 全学年で6回以上実施 3 全学年で5回実施 2 全学年で4回実施 1 全学年で3回実施 4 全学年で6回以上実施 3 全学年で5回実施 2 全学年で4回実施 1 全学年で3回実施	4 生徒のアンケート調査で、肯定的回答90%以上 3 生徒のアンケート調査で、肯定的回答80%以上90%未満 2 生徒のアンケート調査で、肯定的回答70%以上80%未満 1 生徒のアンケート調査で、肯定的回答70%未満 4 生徒のアンケート調査で、肯定的回答90%以上 3 生徒のアンケート調査で、肯定的回答80%以上90%未満 2 生徒のアンケート調査で、肯定的回答70%以上80%未満 1 生徒のアンケート調査で、肯定的回答70%未満
・働 業 き 務 方 改 善	○勤務時間・健康管理を意識した働き方を推進する。 ○服務遵守を図る。 ○長期休業中などにおける休暇取得を促進する。	・勤務時間の管理の徹底、健康管理を意識した働き方を推進する。 ・夏季休暇完全取得、年次休暇取得の促進を図る。 ・業務改善について教職員の意識改革を図る。	・教員一人一人が時間を意識した働き方を進め、過当たりの在校時間が60時間を超えないことを目標とする。 ・会議の精査や学校行事の精選、ライフワークバランスなどについて、自己申告書に具体的な目標を示し、取り組む。 ・服務防止研修、チェックシートの実施を行う。 ・休暇の取得目標を明示し積極的な休暇取得を促す。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上 3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満 2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満 1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	4 教職員の達成率が90%以上 3 教職員の達成率が80%以上90%未満 2 教職員の達成率が70%以上80%未満 1 教職員の達成率が70%未満